

第1回

1 日時：令和5年5月30日（火）14：00～16：00

場所：苫小牧市民活動センター 多目的ホール

2 参加者：114名

居宅介護支援事業所職員、地域包括支援センター職員、病院職員
障がい相談支援事業所職員、社会福祉協議会職員、後見支援センター職員
市職員（介護福祉課、障がい福祉課、総合福祉課、発達支援課）

3 内容：①「身寄りのない人の支援の死後対応の現状を知る」（講義）

苫小牧市福祉部総合福祉課 主査 前田 亜矢子

身寄りのない人が亡くなった場合の対応について、苫小牧市の現状とともに共有。
共同墓や無縁仏についても話があった。

②「事例を通じて身寄りのない人の支援を考える」（グループワーク）

【事例概要】

- あなたは、樽前とま子さん（85歳）の担当ケアマネです。
- ・介護度：要介護1。サービス利用は福祉用具貸与のみ。
- ・住まい：民間アパートの1階に居住（家賃3万円）
- ・家族：夫は死去。障害のある息子（50代）は市外施設に入所中。亡兄の嫁（義姉）が市内在住。亡兄の子（甥）は道外在住で、連絡は取れない。
- ・ペット：猫3匹（詳細不明）
- ・収入：遺族年金、国民老齢年金（月11万円程度）
- ・財産：隣町に山林を所有しているらしい
- ・状況：令和5年5月某日、自宅で転倒して大腿骨を骨折し、市内A病院に緊急搬送。
入院・手術が必要な状態。本人の意識はあるが、受け答えはかみ合わない。
主治医の言うことを聞かず、「家に帰る」と主張する。
A病院のMSWから、担当ケアマネに連絡があった。

事例について、各グループで、以下の3点について話し合った。

- 1) わかっている情報の中で、何が課題となるのか
- 2) 課題解決のためには、どのような情報が必要か
- 3) 誰が何を担当できるか（支援者の中での役割分担をする）

グループワークの結果、以下のような意見が出た。

課 題	必要な情報	役割分担
入院の契約	緊急連絡先 保証人の有無 基礎疾患、受診歴	本人、親族、成年後見人等 申立ては市？
親族への連絡	息子の入所先 息子の金銭管理は？ 義姉、甥の連絡先	息子、甥？
医療の同意	息子の判断能力 本人の希望 宗教的理由	後見申立てするなら 社協
年金の管理 保険証の有無	振込口座はどこか 他にも口座はあるか	成年後見人等 審判前なら社協
入院費の支払い	息子の判断能力 請求書の送り先は誰か 通帳の所在は？	MSW？CM？
家賃やその他の 支払い 電気、ガス、水道 新聞、トドック 配食、町内会費 etc・・・	大家は？現金払い？ 口座引落しか？ 民報？道新？	知人、友人
必要物品の購入	近隣住民 知人、友人関係	知人、社協
猫の対応	オス？メス？年齢は？ 予防接種は？去勢は？ エサは？かかりつけ医は？	
山の管理	所在地、相続状況	後見人、相続人
宗教 夫のお墓	本人の意思、墓の所在地 永代供養、仏壇の有無	
自宅の引き払い 死後の対応	誰ができる？ 献体の事前申込み？	これら情報を事前に 聞いておける人は 誰？・・・